## した。規制委が、意見が割 規制委員会の臨時会合= 独立性に疑問の声が強まって ジュールありきだったことを 運転期間を見直し、 定に踏み切った。別の委員も たが、政治日程に配慮して決 が反対する異例の事態となっ ぎ、最終局面では委員の1人 わせるかのように議論を急 進する政府や経済産業省に合 える運転を認めた。原発を推

可能にする制度への見直し 制制度から、60年超運転を 最長60年」とする現行の規 の運転期間を一原則40年、 委員5人のうち4人は賛成 案を正式決定した。採決で したが、石渡明委員が反対 原子力規制委員会は13 臨時会合を開き、原発 るのは極めて異例。石渡氏 安全側への改変とは言えな 見に基づくものではない。 は「科学的、技術的な新知 れたまま重要案件を決定す 最大活用を目指す政府方針 い」と述べた。 規制委の議論は、

と歩調を合わせるように決 着した。賛成した杉山智之 委員は「外から定められた 締め切りを守らないといけ

運転期間から除外し、60年

審査で停止した期間などを

日程配慮

せ

かされた

与えそうだ。 た従来政策からの大転換。 ないと、せかされて議論し 改正案の国会審議に影響を きなかったことは、関連法 てきた」との認識を示した。 だが規制委内で意思統一で 福島第1原発事故を踏まえ 制度見直しは、東京電力

審査で停止した期間などが 改正法案を了承した。 年ごとに劣化状況を審査、 関連する原子炉等規制法の 石渡氏は13日の会合で、

政府は、再稼働に向けた 超運転を可能にする関連法

をまとめていた。この日は る。この対応策として規制 の改正案を今国会に提出す 年を超える原発は、最長10 認可する新しい規制制度案 委は昨年12月、運転開始30

規制委

原発の運転期間 1回限り 最大20年延長 運転開始 V 現状→新制度室 原則40年 20年 40年 20年 停止期間分を延長

だ」と述べた。

石渡氏は元東北大教授

担当している。

本のところから食い違って に臨民記者会馬を開き一样

4年9月に委員に就任し、 て、地質与力車門へ(1

原発の審査では、地震や津 波など自然災害対策を主に

しまったのは、極めて残念

と言っても、具体的になっ う規制をするか、決まって とに対し「審査を厳格にし ていない」と述べた。 いない。しっかり規制する とになる」と強調。60年を 超える運転に関し「どうい 朽化)した炉を運転する びる。将来、高経年化(老 て長引くほど運転期間が延 運転期間から除外される。 山中伸介委員長は会合後

# 外からせかされた」とスケ 原子力規制委員会は原発の 規制委の金看板だった 60年を超 独立性の確保 板に疑問 していたことが内部通報で発

東京電力福島第1原発事故

面談で用いた資料はほど

と自省の言葉が漏れた。

月に事務局の原子力規制庁が が担っていたことが問題とさ は原発の規制と推進を経産省 めた昨年10月より前の7~9 してきた。 公開したり議事録を残したり 立地自治体との面会や協議は 掲げ、電力会社や推進官庁、 れた。このため規制委は発足 経産省と7回、非公式面談を しかし今回の制度見直しで 規制委が公式に検討を始 独立性や透明性の確保を つくり議論するべきだった われは独立機関であって、じ の関係もあるだろうが、われ

食い違っている」と打ち切り 年に制限する)原子炉等規制 山智之委員からも「他省庁と 多数決を取った。 介委員長は「根本的に意見が だ」と反対を貫いた。山中伸 法は規制委が守るべき法律 委員は「(運転期間を最長60 だ」との声が相次いだ。 公募では「規制と推進の癒着 13日の臨時会合で、石渡明 しかし見直しに賛成した杉

# 政府からの独立した原子力規制委員会の存在あやうし

政府から独立して原子力の安全性を審議するはずの原子力規制委員会が、政府

んど黒塗りで公開した。

きらきら発電市民共同発電所 ニュース2023年3月号

別冊 第99号 ₹981-3215

仙台市泉区北中山3丁目17-12 電話070(2010)3777

HP kirakirahatuden. com/ hirohata3888@outlook.jp

の政治日程にあわせて「60年超運転」を 多数決で強行採決しました。前例のない採 決に、賛成した委員も「われわれは独立機 じっくり審議すべきだった」 関であって、 と反省の言葉を漏らしています。

しかも60年を迎えた時、どんな安全審 査をするのか、何も提案されていません。60年目に何 をするか、政府に問いただしていきましょう。

# 東北電 4月値上げ計画

年比で3割以上減らしたが、請 息が出た。オール電化の一戸建 仙台市泉区の公務員田子和幸さ 暖房を切るなどして使用量を前 3万8000円だった。 蓄熱式 てに妻と2人暮らし。 請求は約 ん(51)は1月分の電気代にため

「思い切り節電して、これか」。 おととしの2.7倍

0円と比べれば実に2・7倍。田 おととし1月の約1万400

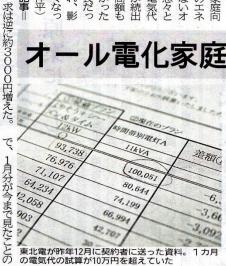
12月に届いた資料に目を疑っ 社員男性(61)は東北電から昨年 電化の負担は大きい」と訴える。 万円を超えていたはず。オール 子さんは「節電しなかったら6 「10万51円」。東松島市の会 っても料金に反映されるのには け自由料金は、燃料価格が上が オール電化向けを含む家庭向

た。向こう1年の電気代の試算 上限があったが、それが昨年12 月に撤廃され、 まま価格に響くようになった。 は11月の約3万3000円か 6人暮らしの男性宅の電気代 燃料高騰がその

うめく。

間料金がこれだけ上がるとオー

らどうすればいいのか」。特長だっ 現実味を帯びる。「さらに上がった し、月の請求が10万円という高額も が既に2倍以上になった世帯が続出 している。燃料価格の高騰で電気代 ルギーを電気に頼らざるを得ないオ け電気料金の引き上げに、家のエネ 響はオール電化世帯ほど大きくなっ た夜間が割安な設定が見直され、影 東北電力が4月に計画する家庭向 ル電化住宅の居住者が戦々恐々と



規制料金

の単価を下げ、夜間の単価を上 単価差の見直し」として、昼間 と平均10・33%になる。

これらのプランは「昼夜間の

う十シーズン&タイム」などオ

(時間帯別電灯A)

ール電化向けの17プランに絞る

69%だが一よりそう十ナイト8 自由料金の値上げ率は平均7・

東北電の改定案では家庭向け 高まる夜間需要

7月

8月

9月

10 月

11 月

12 月

合計

116

126

111

136

142

290

2442

63

71

61

85

81

187

1107

53

55

50

51

61

103

1335

の電気を使って蓄熱式暖房機や

げる。オール電化は夜間に多く

電気温水器を稼働させるため、

影響が大きくなる。

単価差を見直すのは、再生可

ら、12月に約6万5000円に 1万1000 円) 電気料金(モデル)東北電力の家庭向 10000 9000 8000 7000 6000 678910111212 2022 ※使用電力量の設定は、260粽時で オール電化の10分の1から3分の1程 向け

(報道部・関川洋平) ―4面に関連記事―

倍増。 節電に励み1月の請求額

ない「10万円超え」だった。

担軽減策(1階時当たり7円) が迫る。2~9月分は政府の負 先は覚悟しないといけない」と 追い打ちをかけるように値上げ 万円を切ったものの、4月には が適用されるが、男性は「その は約9万8500円と何とか10 だオール電化に分があるが、夜 ける大東住宅(仙台市)の高橋 上がりしており、総合的にはま 夫社長(58)は「ガスなども値 オール電化住宅の建設を手掛

り高まっている。 りがちだったが、現状は太陽光 る時間帯が変わったためだ。以 じやすく、夜間の需要は以前よ 発電が稼働する昼間に余剰が生 前は電力需要が少ない夜間に余 能エネルギーの拡大で電気が余

# 夜間割安設定

### トは昼沸かす と使用電気:

仙台市泉区館の方が2022年4月からエコキュートを昼に沸 かし、その前の夜の実績も紹介してくれました。4 月から 12 月 までの9か月間で608kwhの電気使用量が減りました。そも そも夜間に沸かすと寒いときに沸かすことになり、電気代がか さむことがグラフに示されています。使用電気量を減らすこと は家計にも助かりますし、地球にも優しいということです。

## エコキュート

## 昼にお湯沸かそう

現在も電気代は高いのに、 4月からさらに1割の値上げ が待っています。そこでどん な対策があるか。オール電化 でエコキュート導入してい る家庭で、昼間お湯を沸かす たてか細ぐ士

とどうなるか調べました。			
	2021		
	合計	昼	夜
1月			
2 月	357	48	309
3 月	208	30	238
4 月	242	23	219
5月	161	27	134
6 月	123	17	106
7月	135	25	110
8月	138	31	107
9月	142	27	115
10 月	176	36	140
11 月	234	39	195
12 月	408	96	312
合計	2324	399	1985
	2022		
	合計	昼	夜
1月	435	103	332
2月	413	100	313
3月	322	134	188
4月	121	82	39
5月	104	60	44
6月	126	80	46